

空手の日記念演武祭（世界に広がる空手）



国際大会開会式

「空手発祥の地・沖縄」

沖縄を発祥の地とする空手！
現在では、世界194カ国に約1億3000万人もの愛好家がいるといわれています。

沖縄の地で創造され育まれ受け継がれてきた空手は、門外不出の武術として土族を中心に伝承されていきましたが、明治以降、先人達の努力により学校教育や一般の人々にも普及するようになりました。

沖縄空手の特徴は、師から学んだ伝統的な型や技法を正しく継承するとともに、厳しい鍛錬をとおして礼節を重んじる心を体得することにあります。

このことは、沖縄空手の先達の「空手に先手なし」、「一人に打たれず、人打たず、ことなきを基とするなり」などの言葉にも表されています。

このような高い理念を持った武道であることから、沖縄空手は「平和の武」とされ、本場の技法や型、精神などを学ぶために、世界中から多くの空手愛好家が沖縄を訪れています。

県では、世界に誇る伝統文化である沖縄空手の振興・発展を図るため、



国際大会競技



国際大会閉会式

平成28年4月に国内でも類をみない空手振興課を設置しました。

また、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に発信するとともに世界中の空手愛好家の受入体制を構築するための拠点施設として、昨年3月、豊見城市（豊見城城址公園跡地内）に「沖縄空手会館」をオープンしました。会館には、道場施設や空手の歴史等が学べる資料室、沖縄空手の高段者等が特別の機会に演武するための特別道場などを整備しています。

県では、沖縄の誇る伝統文化である空手の保存・継承・発展を図る取り組みを戦略的に行うため、めざすべき将来像となる「沖縄空手振興ビジョン」を今年3月に策定しました。今年度は、本ビジョンを実現するための具体的な工程等となるロードマップの策定に取り組みます。

「巻行列」と連携して国際通りで行います。

優雅で趣のある琉球王朝絵巻行列とともに、沖縄空手の2,000人規模による集団演武や様々な流派の特徴ある型を観ることができ、絶好の機会です。

当日は、会場にお越しいただき、沖縄空手の奥深い魅力と迫力を体感してみるのはいかがでしょうか。

10月25日は「空手の日」

10月25日は「空手の日」です。

また、去る8月には、世界中の沖縄空手の愛好家が沖縄の地に集結し交流を深める場を創出するとともに、沖縄で先人たちが体系化し今まで受け継がれてきた沖縄空手の技や精神性を今後も正しく保存・継承し、沖縄空手の将来にわたっての振興を図ることを目的として、第1回沖縄空手国際大会を開催しました。大会には、世界50の国と地域から、競技大会に約1,100名の空手愛好家が出場し、日頃の鍛錬の成果を十分に発揮するとともに、空手セミナーには延べ約2,100名が参加しました。大会最終日のフェアウェルパーティー（交流会）では、国内外の空手愛好家が互いの健闘を讃え合い交流を深めました。

昭和11年10月25日、沖縄県内において著名な空手関係者が一堂に会し、「空手」の表記について話し合う座談会が開催されました。

沖縄県議会は、この日を特別な日として歴史にとどめ、沖縄伝統の空手が今後ますます発展し、世界の平和と人々の幸福に貢献することに願いを込めて、10月25日を「空手の日」とすることを決議（平成17年3月29日）しました。

沖縄県、沖縄県議会、沖縄伝統



平成28年空手の日記念演武祭



平成29年奉納演武 仲本政博氏



平成29年奉納演武

問い合わせ 空手振興課 電話：098-866-2232 FAX:098-866-2208